

令和4年度 成年後見・終活サポート事業 事業報告書

1 事業の成果

(1) 成年後見事業について

行政や地域包括支援センター等の関係機関から後見人等受任相談により、法定後見新規受任が5件、個人受任者からの引継16件、合計21件を新たに受任した。事業開始から丸3年が経過し、これまで合計43件を受任し、継続38件、終了5件で推移している。類型別としては、後見類型28件、保佐類型10件、補助類型0件である。障害種別としては、65歳以上の高齢者が25名、65歳未満の障がい者が13件である。

今年度の新規受任ケースの状況としては、自身の浪費で経済的に立ち行かなくなったケース、親族による経済的虐待を疑うケース、親子併せて支援が困難なケース等であった。個人受任者からの引継ケースを含め在宅での生活者が多く、本人らしい生活を地域関係者と連携し支えることに努めているが、その分状況の変化も著しく、対応に苦慮することも多かった。スタッフ間で随時協議をし、頭を悩ませながら対応しているのが現状である。

個人受任者からの引継ぎにより対象エリアが南魚沼市まで拡大し、その影響もあり南魚沼市の支援関係者からの受任相談も受けるようになった。

これまで非常勤スタッフ4名で対応をしてきたが、受任ケースの増加に伴いスタッフの増員が必要となり、令和5年度から常勤スタッフ2名、非常勤スタッフ3名体制で業務にあたる予定である。

(2) 終活サポート事業について

今年度は相談対応の件数は少なかったが、終活オンライン勉強会の講師をしてくださった地元の終活に関する事業者、士業、行政職員等を構成員とし、終活プロジェクト検討委員会の開催に力を注いだ。

検討委員10名、アドバイザー2名で年6回検討会を行い、委員よりこれまで行ってきた活動や事業の説明、妻有地域の課題の洗い出しと整理、終活サポートの内容や執行費用の確保についての検討などを行った。

検討委員会の成果は、3月18日に開催した終活セミナーで報告した。終活セミナーは60名以上の参加者があり、また新聞やテレビといったマスメディアでも取り上げられたことから、令和5年度から本格的に開始する終活サポートについて、地元住民や関係者のみならず、市外・県外に広く周知することができた。

また、セミナー当日から寄付型クラウドファンディングを開始し、終活サポート事業開始するにあたっての資金調達を行っているところである（令和5年5月21日終了予定）。調達した資金は、十いろが信託会社と契約する際の契約金やエンディングノートの制作に充てる予定である。

令和5年度からは、いよいよ妻有地域を舞台に終活サポートを本格的に開始する予定である。預貯金や年金額が少ない人でも、自分の意向に沿ったサポートを受けながら、大切な人たちに迷惑をかけずに安心して人生を全うすることができる仕組みをつくる予定である。また、誰もが終活する文化を妻有地域に醸成していくために、誰もが書きやすく、書き替えしやすいオリジナルのエンディングノートの制作や、出前講座をはじめとした周知活動に力を入れていく予定である。

2 事業実施に関する事項

(1) シニアライフ相談（通年）

数値目標：新規相談年 12 件 達成件数：新規相談 12 件 達成率：100%

<新規相談件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
後見	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	7
終活等	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	5
計	3	1	0	1	0	0	0	1	0	4	2	0	12

(2) 老後の不安を解決するための様々なサービス提供（通年）

<各種サービスの受任や契約の状況>

内 容	数値目標	達成件数	達成率
法定後見新規受任	6 件	5 件	83%
個人受任者からの引継	15 件	16 件	107%
任意後見契約	1 件	0 件	0%
見守りサポート新規契約	3 件	0 件	0%
エンディングノート新規作成申込	1 件	1 件	100%
死後事務委任契約＋遺言書作成	1 件	0 件	0%

<法人後見新規受任件数> ※個人受任者からの引継含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
後見	1	0	0	2	4	1	2	2	0	0	0	0	12
保佐	0	0	0	1	1	1	1	4	0	1	0	0	9
補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
任意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	3	5	2	3	6	0	1	0	0	21

<法人後見運営委員会審査件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認知症	2	1	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	10
知的障害	0	2	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	8
精神障害	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
計	3	3	4	4	3	4	0	0	0	0	1	0	22

<法人後見・見守りサポート契約者・終活サポート契約者など対応件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
法定後見	55	43	38	48	71	65	70	87	84	78	78	70	787
任意後見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見守り	2	0	2	2	9	4	6	2	1	1	1	1	31
終活	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	57	47	40	51	80	69	76	89	85	79	79	71	823

(3) 終活プロジェクト事業

①終活プロジェクト検討委員会

先行的な取り組みを参考に、妻有地域で活躍する福祉・医療関係者、法律関係の士業、寺院など宗教関係者、葬儀会社、墓石店、不動産会社、遺品整理業者など、終活サポートの関係者で集まり、妻有地域の実情に即した終活サポートの仕組みについて検討した。

回	年 月 日	主な検討内容
1	6月29日	終活に必要なサポート①
2	7月27日	終活に必要なサポート②
3	8月24日	吉村アドバイザーによる講義 「死後事務委任契約・執行費用の確保について」
4	9月28日	終活に関する課題の洗い出し
5	11月30日	課題とニーズの整理
6	2月8日	死後事務委任契約によるサポートや執行費用の確保について

②成果報告会

妻有地域の課題と終活プロジェクト検討委員会のまとめを地元住民に報告するとともに、終活の知識を啓発することを目的に、十日町市、津南町との共催で、終活セミナーとして開催した。

地元新聞社、BSN新潟放送、毎日新聞社から取材を受け、複数のマスメディアに取り上げられた。

日 時：令和5年3月18日(土)14:00～16:00

会 場：十日町情報館視聴覚ホール

内 容：第一部…妻有地域の課題と終活プロジェクトの成果報告

第二部…パネルディスカッション

参加者：計69人

(4) 終活出前講座（通年）

数値目標：派遣依頼数6件 派遣件数：8件 達成率：133%

回	日程	主催者・内容・場所	派遣者数
1	6月20日(月)11:20～12:20	幸齢セミナー 『これからの人生のために～老後を支えるサービス～』 中屋敷集落開発センター	1名
2	9月1日(木)13:30～14:30	幸齢セミナー 『これからの人生のために～老後を支えるサービス～』 山野田公民館	1名
3	10月24日(月)14:00～15:30	南魚沼市成年後見制度研修 『成年後見人の役割と連携を学ぶ』 南魚沼市役所大会議室	1名
4	11月10日(木)10:00～11:00	幸齢セミナー 『これからの人生のために～老後を支えるサービス～』 野口集落開発センター	1名

5	11月12日(土) 8:45~12:00	十日町市社会福祉協議会介護職員初任者研修 『認知症の理解』 十日町市社会福祉協議会川西支所	1名
6	1月26日(木) 13:30~15:00	十日町市成年後見制度研修会 『成年後見制度の説明と後見人等の役割について』 十日町市医療福祉総合センター1階講堂 ※オンライン併用開催	1名
7	3月2日(木)・9日(木) 19:00~20:30	下条公民館暮らしの実用講座 『60代からの終活講座~大切な人に想いを託す~』 下条公民館	1名
8	3月7日(火) 6:00~7:00	十日町市倫理法人会モーニングセミナー 『これからの人生のために~今から始める終活~』 十日町商工会議所会館	1名

(5) ソーシャルワーカーの集い『GOTCHA』

今年度は未開催

(6) 法人後見支援員フォローアップ

回	日程・視聴場所	内容・講師	参加者数
1	12月10日(金) 13:30~15:30	第一部…成年後見制度中核機関について 十日町市中核機関：地域ケア推進課井ノ川一彦氏 津南町中核機関：涌井陵氏 第二部…事例検討会	2名

(7) その他

①地域ケア会議へのアドバイザー派遣

回	日程	主催者・内容	派遣者数
1	4月22日(金) 9:40~11:30	十日町中地域包括支援センター 個別事例を用いたケース検討会	1名
2	11月22日(火) 14:00~15:30	十日町北地域包括支援センター 個別事例を用いたケース検討会	1名
3	12月15日(木) 15:30~16:30	十日町西地域包括支援センター 個別事例を用いたケース検討会	1名
4	3月13日(月) 13:30~15:30	十日町中地域包括支援センター 個別事例を用いたケース検討会	1名

令和4年度 放課後等デイサービスヒュッケ事業報告書

1 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
営業日数(日)	20	19	22	20	22	20	123	
延べ人数(人)	154	141	145	146	156	141	883	
稼働率(%)	77.0%	74.2%	65.9%	73.0%	70.9%	70.5%	71.7%	
実利用者数	12人	11人	11人	12人	12人	12人		
給付費収入(千円)	1,389	1,188	1,193	1,229	1,620	1,159	7,778	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	合計
営業日数(日)	21	20	21	19	19	22	121	244
延べ人数(人)	145	151	108	140	144	158	846	1,729
稼働率(%)	72.5%	75.5%	51.4%	73.7%	75.8%	71.8%	70.1%	70.8%
実利用者数	11人	12人	12人	11人	11人	12人	12	12
給付費収入(千円)	1,239	1,294	983	1,221	1,219	1,413	7,369	15,147

2 事業経過

年	月	日	事業	備考
4	4	1	新規利用者1名契約	
		11	新学期開始	
		13	法人全体会、デイ会議	デイ会議は毎月1回実施
		20	利用者誕生日会	全利用者誕生日に実施
		21	情報館へ図書貸借	以降毎月1回実施
			トイレ手摺り設置工事实施	
		26	言語聴覚士来所	以降毎月1回来所
		27	第1回避難訓練実施	
	5	9	厚労省から支給のマスク等受取	
		19	小指導訓練室レイアウト変更実施	
		31	常勤職員1名退職	
	6	1	常勤職員1名勤務開始	
		13	事務室レイアウト変更実施	静養スペース確保
	7	1	指導訓練室レイアウト変更実施	夏休み対策
		25	ふれあいの丘支援学校夏休み開始	8月31日まで
		31	非常勤職員1名退職	
	8	5	職員1名子どもがコロナ陽性のため休み 全利用者、全職員抗原検査実施：全員（－）	8/21まで
		12	常勤職員1名勤務開始	

		17	祭り行事实施	
		23	常勤職員 1 名退職	
	9	2	利用者の兄弟が濃厚接触につき休所（1W） 当該利用者、全職員抗原検査実施：全員（一）	
		13	非常勤職員 1 人勤務開始	
		15	職員子どもコロナ濃厚接触につき休み 当該利用者、全職員抗原検査実施：全員（一） 新規利用者 1 名契約	9/27 まで
		27	消防訓練＋消火器操作訓練実施	
	10	14	いずみこども園訪問	以降 6 か所訪問
		28	ハロウィンパーティー	
		31	NTT ドコモインターネット環境修理	10/28 から使用不能
	11	8	ふれあいの丘支援学校学級閉鎖 3 名キャンセル 車両事故発生（自損のみ、利用者ケガなし）	送り時
		17	明治乳業株主会からお菓子の寄付決定通知受け	
		30	法人研修会：感染症予防	講師：白倉先生
	12	7	コロナ感染により休業（12/13 まで） 以降、利用者や家族感染等によるキャンセル多	
		27	クリスマス会	
	5	1	5	新年会
		2	3	豆まき
		27	新潟県より抗原検査キット受取	
	3	3	ひな祭り	
		27	卒業・進級を祝う会	

3 会議等

年	月	日	事業	学習会
4	4	13	デイサービス会議	知的障害の特性理解
	5	17	デイサービス会議	感覚統合
	6	14	デイサービス会議	利用者との距離感
	7	19	デイサービス会議	自閉スペクトラム症の理解
	9	15	デイサービス会議 虐待防止委員会	愛着障害 各種マニュアル等確認
	10	13	デイサービス会議 虐待防止委員会	愛着障害 セルフチェック実施
	11	17	デイサービス会議	
	12	21	デイサービス会議	
5	1	17	デイサービス会議	生活技能訓練
	2	16	デイサービス会議	コミュニケーション
	3	14	デイサービス会議	発達領域の確認

4 研修

年	月	日	研修名	オンライン	参加
4	6	4	愛着障害の理解と支援	○	星名
		12	脳科学から考える発達支援		藤木
		17	虐待防止セミナー	○	藤木、佐藤
		21	個別支援計画書作成	○	佐藤
		22	集団療育の基礎知識	○	藤木、佐藤
		23	自閉症スペクトラム症を再確認	○	藤木、佐藤
	7	4	相談支援従事者初任者研修	○	藤木
		6	虐待予防研修（法人研修） 加算解説セミナー	○	全職員 渡邊
		10	スタートアップ研修	○	藤木
		21	自然災害 BCP 解説セミナー	○	星名
	9	6	発達支援「脳システム論」	○	佐藤
		23	強度行動障害支援者養成研修基礎(9/23, 24)		桑原
	10	6	強度行動障害支援者養成研修基礎(10/5, 6)		渡邊
		11	施設見学（長岡市ピュアハート z s）		4名
		15	強度行動障害支援者養成研修実践(10/15, 16)		桑原
		21	第1回放課後等デイサービス研修 （十日町福祉会主催）		4名
	11	15	リーダー研修	○	佐藤
		21	施設見学（湯沢町ここいろ）		同上
		30	感染症予防（法人研修）		全職員
5	1	27	第2回放課後等デイサービス研修 （十日町福祉会主催）		佐藤、丸山、 栗原、高橋

5 目標に対する経過

(1) 稼働率 100%を目ざし、安定経営となるよう努めます。

- ・年間の稼働率は 70.8%でした。
- ・新年度に入って新規利用 1 人でしたが、長期休みのみの利用でした。
- ・市主催の放課後等デイサービス連絡会において、利用状況の現状や今後の見通し等を定期的に協議しましたが、当該年度中の新規利用は 2 名で長期利用のみの利用者 1 名（ふれあいの丘支援学校）、週 2 日利用者 1 名（水沢小学校）のみとなったことから、稼働率を上げることができませんでした。

(2) 児童発達支援計画の充実とプロセス管理を全職員体制で行います。

- ・利用者の担当者を常勤職員 3 名に割り振りましたが、職員の変動があったことから、担当者ごとにプロセス管理までには至っていません。
- ・ただし、日々の打合せ会や終業時に、特変事項等の確認を全職員で行っており、利用者情報の共有化と対策はなされました。
- ・毎週 1 回開催の企画委員会において、全体活動計画並びに個別活動計画を検討中であり、個別活動

計画については公認心理師並びに言語聴覚士の所見を参考に作成しています。

(3) 職員の専門性向上を図ります。

- ・会議ごとに学習会を開催し、計画的に専門性を育成する機会確保ができました。
- ・事業所外研修においては、各種資格取得のための研修会や専門知識習得のためのオンラインやオフライン研修会等、積極的に参加しました。
- ・今後は、研修会で得た知識等の発表会を企画して平準化に努めます。

(4) 利用者の安全安心を担保した支援環境整備に努めます。

- ・多動傾向にある利用者の安全確保のため、指導訓練室（大、小）並びに事務室のレイアウト変更を行いました。
- ・これにより、職員の目が届きにくい場所が大幅に減少し、安全に寄与しているものと推察されます。